

様式3 実践事例

東串良町立東串良中学校 第1学年

【授業実践のポイント】

- ① 生徒が多面的・多角的に考える発問になるように中心発問を厳選し、その他の発問も焦点化した発問になるようにして、生徒の考えることを明確にした。
- ② 多面的・多角的に学び合う授業になるように、自分なりの考えを整理させるための手立てを工夫し、話し合いの型を用いたグループ活動等により意見交換が活発になるように工夫した。
- ③ 生徒が日常を想起する場を設定し、自分を見つめるきっかけを作るために、導入を工夫したり、展開に日常を想起させる発問を取り入れたりした。

1 主題名 「自他の権利と法の遵守」[C (10) 遵法精神, 公德心]

(1) 教材名 「使っても大丈夫？」(日本文教出版 「あすを生きる」 1年)

(2) 本時のねらい

法やきまりが社会でどんな役割を果たしているか考え、自他の権利を重んじる態度を育てる。

2 授業の展開

過程	主な学習活動	単	指導上の留意点
導入	1 ルールについての事前アンケート結果を見てどう思うか話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ルールはなぜあり、なぜ守らなければならないのだろう。</div>	5分	○ 生徒の経験から振り返らせ、似た経験をしたときの気持ちを思い出させる。
展開	2 教材「使っても大丈夫？」の朗読を聞き、事例1～3についての問題点を確認する。 T：事例1～3について、問題点は何だろう。	20分	○ 3つの事例から、自他の権利や利益、人権が守られていないことに気付かせる。
	3 権利を侵害された側の気持ちを考える。 T：事例1～3とは逆に、この写真のように自分の顔写真が学校のHPに載っていたらどう思うだろう。 4 法やきまりの存在意義について、もう一度アンケート結果を見て、個人で考えさせてから、グループでも話し合う。 T：ルールはなぜあり、守らなければならないのだろう。	5分 15分	○ 事例1～3とは視点を変えて、自分の権利が侵害されたときどんな気持ちになるか考えさせる。 ○ 話し合いの型を用いることで、活発な意見交換ができるようにする。
終末	5 法やきまりを守ることを意味を考え、自分なりの意見をまとめ、振り返りを行う。 T：これからの生活でどのようなことに心がけていきますか。守りたいルールや心構えを書こう。	5分	○ 個人でノートにまとめさせる。 ○ 授業後に振り返りを行い、変容を確認できるようにする。


ルールは、誰かがい やな思いをする ための。 (理)ルールをみんな が守れば世界は 平和になれるから。	法律やルールがな ければ、自分生活 が楽しくなくなり、起 こすから。	法律がなければ国 がな状態。好きて捕 る。悪人がまっ (理)勝手法律ない から。	使っても大丈夫？ ルールはなぜあり、守らなければ ならないのだろう。
法律やルールが ないと、犯罪をし てしまう人が増 えてしまうから。	悲しい思いをす る人が増える中 に自由な世にな らないため。	法律がなくなると、大 変なことになる。捕ま (理)変なことをし、警 察から。	事例1〜3について問題点は何だろう。
守らないと好き 勝手になり、事故 になる原因にな るから。	他人に迷惑をかけ ないようにするた め。(理)自分がいいとは 思っても、他人は 不快に思うこと があるから。	ルールを守らな いと人の迷惑あ つて、世界にな らなくなるから。	その1 勝手に書きかえて 自分のものにした。 その2 ネットにのせるとい うことを友達に伝えてい ない。 その3 返事がきていない にもかかわらず使 ってしまっている。

各班の話合いの内容をホワイトボードに書かせ、比較できるように掲示した。

<ul style="list-style-type: none"> 社会のルール お店の中を走り回らない <p>マナー系</p>	<ul style="list-style-type: none"> いじめ 敬語を使う <p>人間関係</p>
<ul style="list-style-type: none"> 交通ルール 信号を守る <p>交通</p>	<ul style="list-style-type: none"> 窃盗 飲酒タバコ 校則 <p>法律、犯罪</p>

事前アンケートを踏まえ、生徒が考えるルールについて提示し、身近なルールについて考えを深められるようにした。

令和3年度入学式



本日の入学式が行われました。真新しい制服に身を包んで、堂々と入場してきました。これから3年間がんばりましょう。

もし自分の顔写真がHPに載っていたら？

使っても大丈夫？

1-() No.() 氏名()

めあて：ルールはなぜあり、守らなければならないのだろう。

1. 事例1〜3について、問題点は何だろう。

事例1
人が一生懸命書いたものを自分のものにしてしまったこと。

事例2
本人の許可がないのに勝手にネットにのせた。

事例3
書いた人の許可がないまま、勝手に使った。

②考えてみよう

法律やルールはなぜあり、守らなければならないのだろう。

自分の考え ・みんなが安心して くらすようにするため	グループの考え ・ルールを守らなければ他人の迷惑になるし何事もアリの世にならな い。
別のグループの考え ・ルールはみんなが、いざ思いをしなくても守 るためにある。	

○ これからの生活で何をどこかつけていきますか、具体的な守りたいルールや心構えを書きましょう。

守りたいルールや心構え

- ・交通ルールをしっかりと守る。
- ・インターネットに人の情報が載ることかかない。
- ・個人情報を守れるようにする。

○ ノートを使って振り返りをしよう。

生徒の入学式の写真（実際は顔が判別できるもの）を提示し権利を侵害された側の気持ちを考えさせた。

東串良中学校 道徳 多面的・多角的な視野を広げるための話合いシート

話合いをする上で、お互いの考えをもとによりよい考えへ練り上げていくために、下のことを意識して話合いしましょう。

(進行役) これから話合いをします。まず、自分の意見に理由をつけて言ってください。

【個人の考え】(理由や根拠、経験等を示して)
～だから、～と思います。


(進行役) 次に友達の見聞きをきいて、気になることを質問したり、聞いてみたいことを質問してください。

【質問】(詳しく聞きたい) (理由や根拠を知りたい)
・それはどういうことですか。 ・どうしてそう考えたのですか。
・そう考えた理由や根拠は何ですか。

【別の考え方・友達の見聞きを聞いて気づいたこと・考えたこと】
(理由や根拠、経験等を示して)
・～だから、～の考え方もできるのではないですか。

(進行役) 友達の見聞きでいいと思ったこと、共感したことをノートに書きましょう。

【発表】(話合いをして気づいたこと)の発表
～という考えや、～という考えが出ました。
※無理に一つの意見にしなくてよい。似たような意見のみまとめる。



〈ワークシート〉

〈学校全体で活用している話合いの型〉

3 実践を終えて

(1) 成果

- ア 発問を焦点化し個人で考える時間を確保することにより、グループでの話合いに一人一人が積極的にかかわる姿が見られた。
- イ ワークシートの工夫によって、最初の自分の考え、友達のを聞いて気付いたこと、授業後の考えの変化などを生徒自身に整理させることができた。

(2) 課題

- ア 今回の中心発問は、生徒に馴染みのあるきまりに視点を広げ、法やきまりの意義について考えさせたが、今後、生徒の気持ちを揺さぶる場面も設定していく。
- イ 話合いの型を用いたグループ活動を他の教科や領域でも取り組むことで、話合いを習慣化していく。